

不動産業業況等調査（平成29年1月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	15.6 p	△ 1.6 p ↘
不動産流通業(住宅地)	△ 10.9 p	△ 4.2 p ↘
ビル賃貸業	14.6 p	4.2 p ↗

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 1.6p 悪化し 15.6p。16期連続のプラス水準。
不動産流通業は前回から 4.2p 悪化し △ 10.9p。4期連続のマイナス水準。
ビル賃貸業は前回から 4.2p 改善し 14.6p。11期連続でのプラス水準。

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	7.8 p	16.4 p ↗
不動産流通業(住宅地)	0.0 p	6.7 p ↗
ビル賃貸業	2.1 p	2.1 p ↗

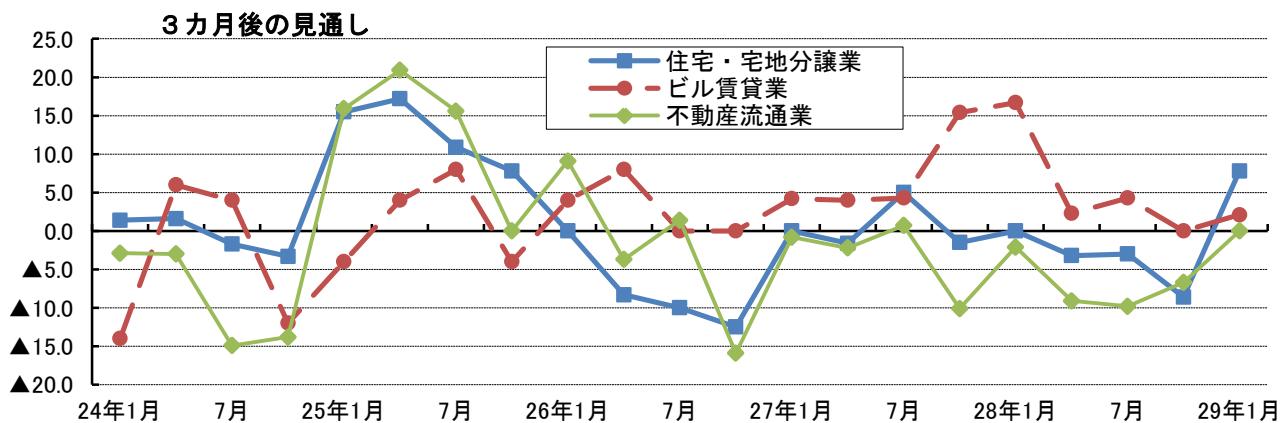
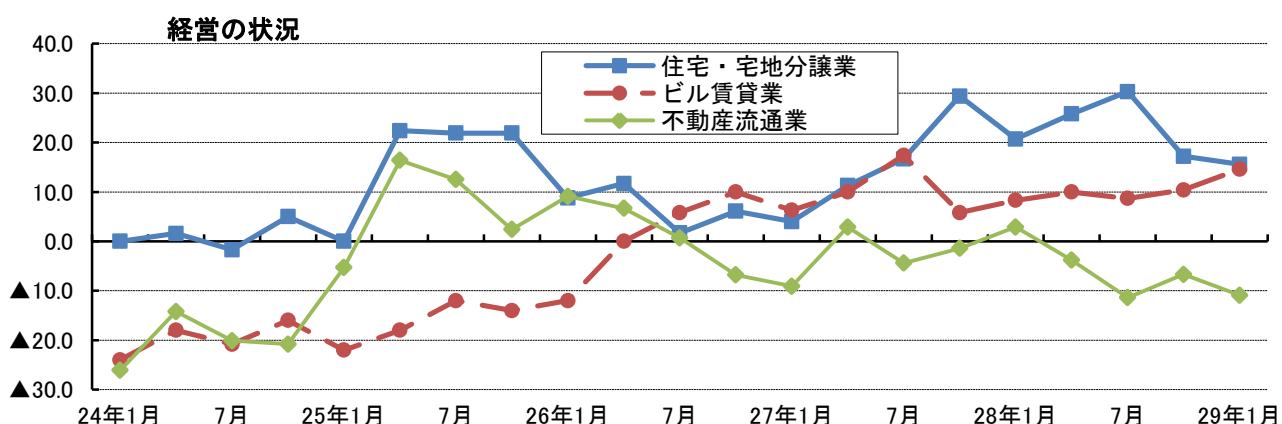
3ヶ月後の見通しは、3業種すべてで改善。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。

調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = {（「良い」×2「やや良い」） - （「悪い」×2 + 「やや悪い」）} ÷ 2 ÷ 回答数 × 100

*3 3ヶ月後の見通し = {（「良くなる」×2 + 「やや良くなる」） - （「悪くなる」×2 + 「やや悪くなる」）} ÷ 2 ÷ 回答数 × 100



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」